

平素は弊社商品をご愛顧いただき誠にありがとうございます。

この設定変更は内税部門から外税部門へ変更する操作方法を記載してあります。

お店の運用を内税登録から外税登録に変更する際はお客様ご自身にて設定変更していただくようご案内申し上げます。

尚、レジスターの『取扱説明書』にも本内容はすべて記載されていますので併せてご参照下さい。

【 設定変更の流れ 】

1. 鍵位置<精算>で“精算”を行います。
2. 鍵位置<設定>で下記，設定変更を行います。
 - ①部門の税区分を変更します。（内税→外税に変更します。）
 - ②システムオプションを変更します。（外税データの印字選択）
 - ③PLUの単価を変更します。（税込み価格→税抜き価格に変更します。）
 - ④PLUの税区分を変更します。：通常は変更必要ありません。
 - ⑤レシート上の税区分シンボルマーク（非，外，内）の印字選択をします。
 - ⑥税計算の端数処理を選択します。
 - ⑦マスターサテライトシステムの場合（データ送信）

U-4, U-7/FR-32, FR-33/M-2000、U-2000 シリーズ	
該当機種	U-4, U-7, FR-33, FR-32 M-2000, U-2000

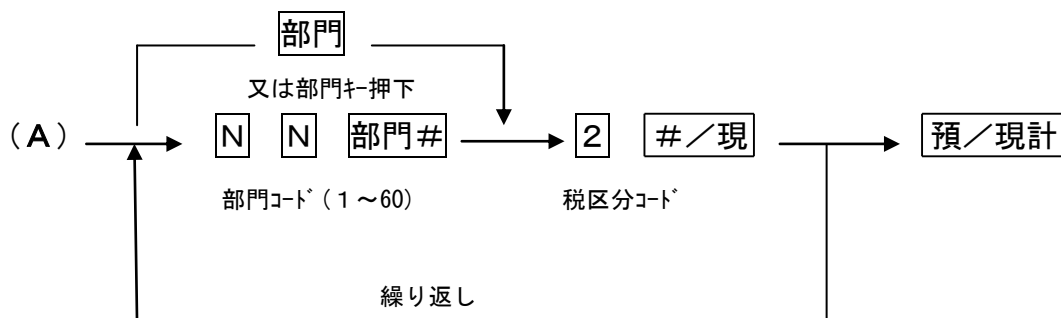
内税部門を外税部門に変更する設定操作

<使用する鍵>MAキー、<鍵の位置>設定

①部門の税区分を変更します。

3 × 4 #/現 → (Aに続く)

部門設定宣言



(注) 税区分コードは 3 : 内税部門 2 : 外税部門 4 : 非課税部門となります。

②システムオプションを変更します。

レシート上に税合計を印字すると設定変更します。

[レシートサンプル]

部門01	¥1,000
部門02	¥2,000
部門03	¥5,000内
小 計	¥8,000
外税売	¥3,000
外 税	¥150
現 見 言十	¥8,150

<設定操作>

設定宣言 アドレスNO 選択した項目 NO（ご推奨）

<項目NOの内容説明>：ご推奨の設定内容を明示しています。

1. 精算レポートに外税集計データの印字選択：印字とします。
2. 精算レポートに内税集計データの印字選択：印字とします。
3. レシートの合計の下に（ ）で税合計の印字選択：印字とします。
4. レシートの合計の上に課税対象額の印字選択：無印字とします。
5. レシートの合計の上に税額の印字選択：無印字とします。
6. （必ず選択します）

<システムオプションの内容>

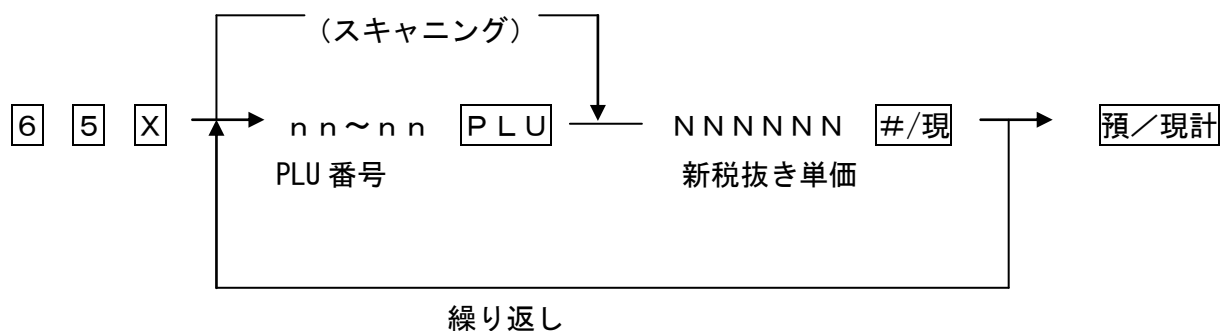
アドレスNO	項目NO	システムオプション内容	項目NOを	
			選択しない	選択する
8	1	レポートの外税データ	無印字	<印字>
	2	レポートの内税データ	無印字	<印字>
	3	レシートの合計下に税合計印字	<無印字>	印字
	4	レシートの合計上に課税対象額を印字	無印字	<印字>
	5	レシートの合計上に税額を印字	無印字	<印字>
	6	(固定項目)		<6>

(注) < >内は工場出荷時の設定です。

③ P L U の単価を変更します。

各 P L U の設定単価を税込み価格から税抜き価格へ変更します。

【設定操作】 鍵位置< R T R > < 設定 > * 注：鍵< R T R >を使用します。

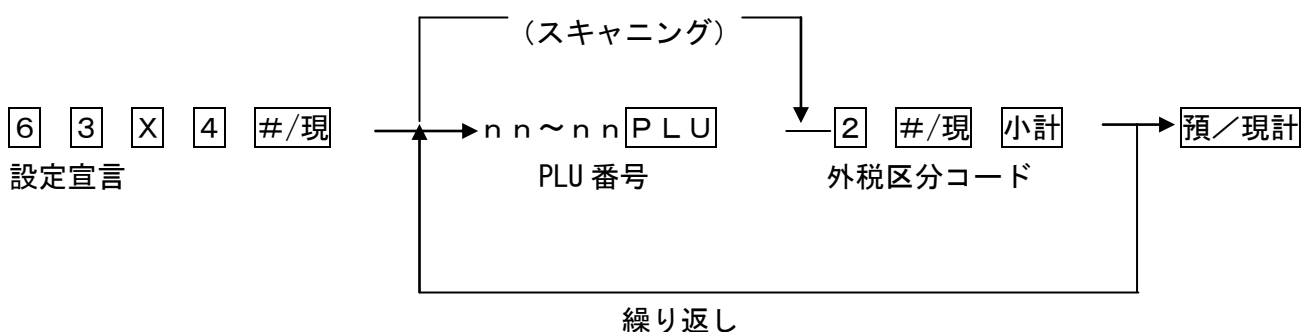


- (注) 1. 一度に設定変更できるアイテム数は最大100アイテムです。101以上の単品の場合は100単品で一度 **預/現計** で締め、再度 **[6][5][X]** から次の100個の単価変更を行います。
2. マスター/サテライトシステム時は **預/現計** 操作で、サテライトレジへ変更データを送信しますので、サテライトレジも電源ONにしておいてください。

④ 単品 (P L U) の税区分が設定してある場合

通常は単品の税区分は0となっており、従属する部門の税区分に従いますが、単品毎に税区分が設定されている場合は下記操作で単品毎に税区分の変更が必要です。

【設定操作】 鍵位置< R T R > < 設定 > * 注：鍵< R T R >を使用します。



- (注) 1. 税区分コードは **[3]**：内税部門 **[2]**：外税部門 **[4]**：非課税部門となります。
税区分コードが **[0]** (表示にでます) の時は本設定はする必要がありません。
2. マスター/サテライトシステム時は **小計** 操作で、サテライトレジへ変更データを送信しますので、サテライトレジも電源ONにしておいてください。

⑤ レシート上の税区分シンボルマークの変更ができます。

部門01	¥1,000
部門02	¥2,000
部門03	¥5,000内
小計	¥8,000
外税売	¥3,000
外税	¥150
見 言十	¥8,150

下記例は外税部門は「空白」、内税部門は「内」非課税部門は「非」と印字する設定例です。

【設定操作例】 鍵位置<設定> 注:<RTR>は不要です。元に戻してください

1 0 X 1 9 小計

設定宣言

2 4 0 0 #/現 2 0 0 #/現 2 2 1 2 #/現 小計 預/現計

「非」の漢字コード

「空白」の漢字コード

「内」の漢字コード

注意:「非」・「外」・「内」のシンボルマークは漢字1文字設定できます。

⑥ 税計算の端数処理が選択できます。

税計算の端数処理（切り上げ／四捨五入／切り捨て）が選択できます。

標準では外税の端数処理は切り捨てになっています。

<設定操作>

1 8 X 7 小計 1 4 6 #/現 預/現計

設定宣言

アドレスNo.

選択した項目No.（ご推奨）

<外税計算の1円未満の端数を選択できます>

“切り捨て”の場合: 1 4 6 を選択し設定します。（標準:ご推奨）

“四捨五入”の場合: 1 6 を選択し設定します。

“切り上げ”の場合: 1 3 6 を選択し設定します。

アドレス No.	7		
項目 No.	名称	選択しない (X)	選択する (O)
1	(固定項目)		<1>
3	外税の端数処理切り上げ	<四捨五入>	切り上げ
4	外税の端数処理切り捨て	四捨五入	<切り捨て>
5	内税の端数処理切り上げ	<四捨五入>	切り上げ
6	内税の端数処理切り捨て	四捨五入	<切り捨て>

< >が出荷時の設定状態です。

【マスター／サテライトシステムで運用時の設定変更】

マスター機で前記の設定変更を終了したら、サテライト機に設定を送信します。

【変更データの送信（DLL）】

1. 各サテライトレジスターでは日計精算・累計精算・PLU精算を行います。

2. マスター機で下記操作します。

① 鍵位置<RTR>，<設定>

② 8 1 預／現計

サテライト機に部門設定テーブルを送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します。

③ 8 2 預／現計 （単価変更のみ時は本操作は不要です。）

サテライト機にPLU設定テーブルを送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します

④ 9 0 預／現計

サテライト機にシステムオプション設定を送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します

⑤ 9 1 預／現計

サテライト機に印字名称等の設定を送信します。

完了すると点滅は終了し、レシート発行します。

⑤ 鍵位置<RTR>，<設定>を戻します。

（注） サテライト機へのデータ送信でサテライト機の電源が切れていたなど障害があった場合には、手動でデータ送信のリトライ・中止を行う事もできます。

リトライ： 預／現計 押し下げ

中 止： 替 押し下げ

中止時は障害復旧後、再度送信ください。